

の一環として「どうしんサンタ検索チーム（以下「検索チーム」）」を発足。多くの検査員や検索機器を動員し、関係各所と連携を取りながらサンタクロースの存在を追ってきた検索チームが、今年もいよいよ本格的に始動する。

世界中の子どもたちにとって永遠のテーマであるサンタクロース。彼は本当に実在し、クリスマスの夜にプレゼントを届けてくれるのか——。そんな永遠のテーマに挑むべく、2010(平成 22)年、北海道新聞社広告局は「どうしん夢プロジェクト」

サンタクロースの発見が離航している理由の一つとして、長年捜査員の人材不足が指摘されてきた。そこで捜索チームは、26日の会議で、捜査員育成のための特別教育プログラムを作成することを発表した。これまで簡易マニアルで手作業による検索を行っていたものの、豊富な知識や技術が身に付く現状を踏まえ、捜索ノウハウが網羅された本格的な教育プログラムの開発が必要と判断した模様だ。このプログラムで学ぶことにより、これまでと比べて2倍のスピードで捜査員試験に合格できるという。かつて現場で出でた最も即戦力のある人物が、教育学の大学教授として期待されている。関係者によると、この新規の特別教育プログラムは、既存のサンタ捜査員のフォローアップ研修への活用も期待されている。

「検査員育成プログラム」発表

人材不足解消へ
12月上旬からの運用開始か



次世代の検査員育成に欠かせない 「検査員育成プログラム」

どうしん夢プロジェクト広告企画

そつき
搜索
=26

索チームが「搜索の切り札」として開発を進めているメガネ型搜索機「サンタメガネ」(イメージ)
26日、北海道新聞本社にて発表

最新防犯カメラも活用

てきた。現在、12月から
本格運用に向けて、テスト
を重ねて いるといつ。

不調を嘆いた三田本部では、新しい検索機器の必要性を痛感。水面下で着手しながら「発表段階ではない」として未発表だった「サンタメガネ」の早期完成を目指した。アダムスキーボーに監修を依頼しつつ、国内トップクラスのエンジニアと接触するなど、最新鋭の検索機器の開発を推し進む。

新搜索アイテム 「サンタメガネ」

「サンタクロースは実在する。その真実を追い求めるために、再び立ち上がりた」。11月26日、北海道新聞社で捜索チーム再始動の記者会見が行われ、最高責任者の三田育三（みた・いくぞう）本部長が宣言した。そこで、サンタクロースの存在を信じる子どもの減少が社会問題になつている中、子どもに夢を持つてもらおうと発足した捜索チームは、今までに、サンタの手掛けたりを引くトナカイから発せられる特殊波をキャッチする「トナカイレーダー」や、トナカイの鳴き声を発生させて誘引する装置「トナカイ誘引システム」などを開発。サンタクロース研究の権威であるアダムスキーボ士の協力の下、サンタの研究・捜索を行ってきた。

3年をかけて開発

過去5年間の捜索の中では、サンタの存在証明に肉薄する場面に遭遇したり、証拠も押収。約40センチの巨

大な足跡をはじめ、サンタのそとのそりと思われる跡やサンタの影が写つた写真など、痕跡は枚挙にいとまがないが、決定的な証拠は押さえられなかつた。三田本部長は、再始動にあたつてこう書つた。「この一年、サンタのことだけを考えてきた。今年こそ結果を出す」。

を経て開発が進められていく「搜索の切り札」として発表されたのが、メガネ型のが発表されたのが、メガネ型の搜索機「サンタメガネ」である。

次長職に民間人起用

北漢書

人馬卷

A white dome surveillance camera is mounted on a ceiling, showing a view of a hallway. The camera has a red 'A' logo on its front. The background shows a hallway with a door and some equipment on the wall.

サンタ情報求ム

企画制作／北海道新聞社広告局
この広告企画はお子さまと楽しんでいたたくなつた
め、夢のある構成となつています。ご理解ご了承
願います。次回は11月29日朝刊予定

クリスマスも計画的に

2

体力作りなどを行うという。サンタのように1年とはいわなくとも、ク

企画制作／北海道新聞社広告局
この広告企画はお子さまと楽しんでいたたくなつた
め、夢のある構成となつています。ご理解ご了承
願います。次回は11月29日朝刊予定

三田本部長は留任

なお、最高責任者である「本部長」職には、捜索チーム発足時から最前線で陣頭指揮をとつてきた実績と信頼から三田育三氏が留住する。強力な布陣を敷いた捜索チームが本領を發揮するか、今後に注目したい。

バーサークの立場である「次長職」に初の民間人を登用するとした。

この次長職に就いたのは、札幌市内で子ども向けの絵本読み聞かせやワークショップ等を手がけるNPO法人「北海道きらきらドリーム醸成会」の代表、らドリーム醸成会の代表、

26日の会見で、捜索チームは今年の人員体制を発表した。昨年、大規模な構造改革を行ったため、今年度は体制の定着化を図る。その中でも、より子どもたちの声を生かす調整役として、その活躍が期待されてい る。

夢丘あゆむ氏(54)。夢丘氏は、副本部長とともに10に及ぶ各部の取りまとめを行うほか、民間の声を生かす調整役として、その活躍が期待されてい

の画像を自動的に解析。リアルタイムで解析結果を割り出してくれるという。このカメラをこれまでの日撃多発場所に設置し、専門スタッフが24時間体制でチェック。現在、設置場所を検討している段階で、サンタの姿を逃すまいと盤石の体制が整いつつある。